

2021年秋年末闘争・組織拡大

CTGの建交労道本部闘争速報

2021年9月10日/第1号

〒060-0909 札幌市東区北9条  
東1丁目北海道労働センター2F  
TEL011-711-7377  
FAX011-711-7388  
e-mail/ctg.hokkaido@gmail.com

# 第23回全国大会を開催 総選挙で政治を変えよう

建交労第23回定期大会はコロナ禍のもと日程を短縮し、8月28～29日に群馬県「ホテル磯部ガーデン」を会場にオンライン併用で開催されました。大会には北海道から宮澤書記長（中執）と代議員6人、特別代議員3人（北海道本部/建設現場部会/全国青年部）が参加し、2日間で会場参加者から22人とオンライン参加者から15人の合わせて37人が発言しました。

北海道からは森国代議員（道本部委員長）が、北海道2区補欠選挙での市民と野党の共闘が勝利した経験を踏まえ、自己責任を強調する政治を転換するために野党連合政権をつくるため奮闘する決意と、9年連続で上げられた設計労務単価を現場調査でさらに明らかにしながら、労働者の実利の確保と組織拡大にとりくむことなどを述べて討論に参加しました。

広瀬書記長は総括答弁で「総選挙で組合員ひとりひとりが向き合えば必ず政権を変えられる。私たちの要求実現できる社会に向けて変化をつくり出すためにも総選挙キャンペーンに組織をあげてとりくもう」と総括答弁をおこないました。

すべての議案が可決・承認され、大会スローガン、大会宣言、特別決議（争議解決）を拍手で承認して、角田委員長の団結がんばろうで閉会しました。

## 釧路支部と十勝建設支部が組織拡大表彰

大会では組織拡大表彰がおこなわれ、釧路支部と十勝建設支部が「準優秀賞」（純増5%以上）を受けました。両支部とも7年連続の表彰です。

## ダンプキャラバン・文書回答

今年のダンプキャラバンは、例年、要請行動をしている北海道、北海道開発局、札幌市ともに緊急事態宣言などをうけてすべて文書回答となりました。公共工事の積算労務単価をもとにダンプ労働者に適正な賃金が支払われるよう求めるとともに、過積載などの根絶のための業界団体への指導徹底などを求めて要請書を提出していました。

## 北海道交運共闘が労働局要請

9月6日、北海道交運共闘は、「交通運輸労働者の労働条件改善」を求めて北海道労働局要請をおこないました。交渉には三上友衛議長（道労連議長）をはじめ役員（建交労から道本部・森国委員長＝副議長、宮澤書記長＝事務局長、自交総連から吉根書記長＝事務局次長）が参加し、労働局から監督課などが対応しました。回答を受けたあと、国土交通省が8月27日に発表した「自動車運転者を使用する事業場に対する令和2年監督指導、送検等の状況」などから、業界での労働基準関係法令違反や改善告示違反などが高水準のまま一向に改善されない現状にあることなどを質したうえで、悪質な事業者に対する実効性ある監督指導をするためにも監督部署の増員などを求めました。